

# ハルナG新センター 地域交流の空間にも

## 高崎の本社近く12月竣工

清涼飲料水メーカーのハルナグループ（高崎市足門町、青木麻生CEO）は18日、同市の本社近くに12月竣工予定で建設を進めている「ハルナイノベーションセンター」（仮称）の概要を発表した。社内外問わず交流ができ、地域の憩いの場として活用できる空間の創出を目指す。

商品の研究開発をはじめ、企業と情報交換する場をつくることを計画。カフェテリアを設け、清涼飲料水の製造過程の紹介や飲料水作りの体験などができる

施設とする。青木CEOは「企業とコラボレーションしたものづくりや地域に開かれた場にしたい」と話した。

### 自社商品販売強化 売上高が過去最高

ハルナグループ  
3月期決算

清涼飲料水メーカーのハルナグループ（高崎市足門町、青木麻生CEO）が18日発表した2024年3月期連結決算は、売上高が前期比17%増の342億3100万円、純利益が38%増

の3億6千万円でともに過去最高となった。

健康や環境に配慮した高付加価値の自社ブランド商品の販売強化、商品のリニューアルやサービス見直しによる価格戦略を推進。昨年7月から事業を開始した完全子会社「ハルナウォーター」（長野県）による成長市場のミネラルウォーターの安定供給に加え、自社ブランドの生産性が向上し、販売数量は過去最高を記録した。電力会社の切り替えや設備更新によるロス削減対策などのコスト削減で利益を押し上げた。

営業利益は51%増の7億5800万円、経常利益は42%増の6億500万円とそれぞれ過去最高だった。

ミネラルウォーターのさらなる安定供給体制の確立や生産性向上などにより、25年3月期は過去最高となる売上高350億円、営業利益8億円を見込む。